（第3種郵便物認可）

ごみの分別を実際に体験する外国人ら

外国人もごみルールを

NPOが講習会

分別理解、トラブル回避

港区

日本で生活する外国人に大阪市のごみ出しのルールを伝える講習会が、港区弁天2丁目の区民センターで開かれた。講師の市職員が分別の判断に迷うケースなどを例に正しいごみの分け方を伝えた。（山本圭介）

講習会は同センターで住民とトラブルになるのを避けるのが狙いで、ベトナムや中国、インドネシアなどの約40人の外国人が参加した。

同市環境局の西部環境事業センター（大正区）の職員が、ごみ出しの際は「古紙・衣類」「資源ごみ」など四つに区分する必要があると説明。参加者が実際にごみを分別し、職員が分け方を説明。会場から「粗大ごみの料金はいくらか」などと質問も寄せられた。

同協会の札葉正隆理事長(64)は「たいていの人はできていると思うが、日本人の外国人への偏見をなくすためにもルールを守ってごみを出してほしい」と話した。

中央区

本物そっくり

花や人形など60点

粘土作品展

クレイクラフトと呼ばれる樹脂と紙を含んだ粘土を自由に加工し、本物そっくりに作った花やケーキ、人形や本などの作品展「粘土で形成。色も自由に着色できるため本物と見分けがつかず、触れてみて粘土と分かる精巧な作品が並ぶ。

花々や柔らかい質感の人形、額縁まですべて粘土で作られた作品展

教え子の松本朱美さんは、「普段事務仕事ばかりでパソコンとにらめっこなので、気分転換にもってこい。私はまだ花1輪作るのに1時間近くかかるが、生花を持って行けない時代なので、粘土のお花はとても喜ばれます」と話す。

森さんの教室は初回は材料費2500円で小さな器にバラの花を作って付けることを体験し、興味が持てれば正式に月単位で通う方式。

問い合わせは電話06（6942）2266

スキや団子が備えられた反橋（そりばし）の上で、参拝者らが行った短歌と俳句の朗詠

にちにち写真館

住吉大社観月祭

みやびな秋の一夜

住吉区

中秋の名月の日に合わせ、住吉区住吉2丁目の住吉大社では伝統行事「観月祭」が執り行われた。あいにくの曇り空だったものの、雲間からわずかに月が見られる瞬間もあり、参拝者らがみやびやかな秋の一夜を味わった様子を写真で紹介する。（加星由憲）